

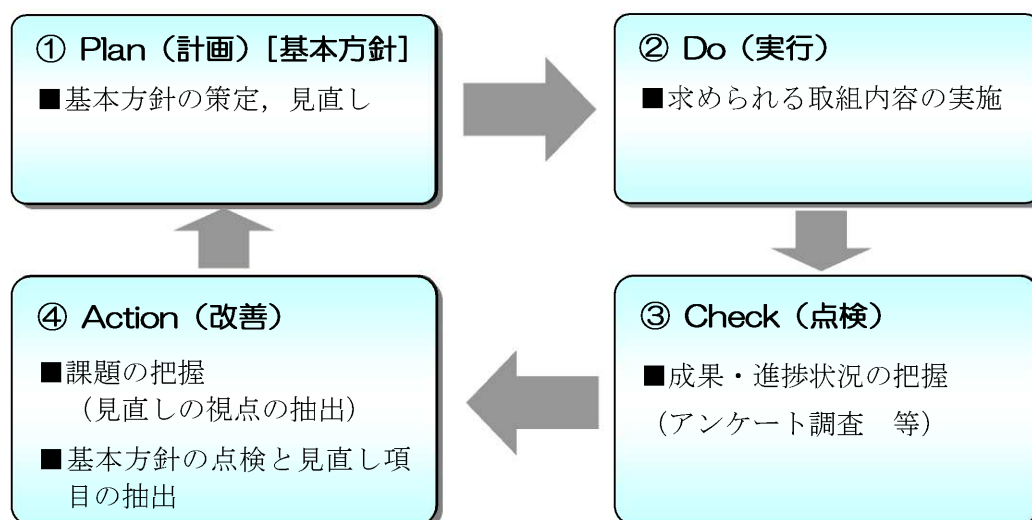
VI 基本方針の実現化に向けて

1 PDCAサイクルの導入

宇品・出島地区では、長期的な見通しを立てて賑わいづくりを進めていきますが、取組途中で社会情勢等が変化する可能性があり、適正な進行管理と必要な見直しに取り組む必要があります。

そのため、計画[基本方針](Plan)を、実行に移し(Do)、結果・成果を点検し(Check)、改善し(Action)、次の計画[基本方針](Plan)へとつなげる進行管理を行います。なお、社会情勢の変化などにより緊急を要するものは、速やかに点検(Check)、改善(Action)、計画(Plan)更新を行うほか、緊急を要さないものについても、概ね5年ごとに行います。

●PDCA（計画—実行—点検—改善）サイクル



2 具体化に向けたエリアマネジメントの推進

宇品・出島地区では、県・市だけでなく、交流厚生用地等の民間企業、自然・歴史資源の愛好家など、多様な主体が一体となって、宇品・出島地区の魅力を育むことが重要です。

各ゾーンで目指すイメージや、それらを通した宇品・出島地区の全体コンセプトを実現するため、県・市及び宇品・出島地区に関わる民間企業や、まちづくり活動を行う市民・NPO等と適正な役割分担を行い、連携を図ることで、より大きな魅力づくりが進められるエリアマネジメントの推進に取り組んでいきます。

(参考) 宇品・出島地区における賑わいづくりの役割分担イメージ

1 役割分担の基本的な考え方

<p>広島市</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市民と一体となったまちづくりに関すること <p>[取組例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなとオアシス広島による市民イベントの支援 ・市民による環境学習への支援(アース・ミュージアム元宇品) ・市民との協働によるまちづくり活動への支援(南区魅力発見ガイドツアー)
<p>広島県 (広島港港湾管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 瀬戸内 海の道構想の推進に関すること(船と航路とみなと賑わい) ○ 広島港港湾計画に基づく港湾施設の利活用や整備に関すること <p>[取組例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾緑地(宇品波止場公園 , 広島みなと公園等)の有効活用 ・港湾倉庫, 港湾用地の利用転換等

2 取組例

The map shows the Ura and Shimojima districts in Hiroshima. Callout boxes describe the following roles:

- [県] 港湾倉庫, 港湾用地の利用転換等** (Prefecture): Port warehouses and conversion of port land use.
- [市] (宇品波止場公園) みなとオアシス広島による市民イベントの支援** (City of Hiroshima): Support for citizen events by Minato Oasis Hiroshima at Ura Bay Stop Field Park.
- [市] (元宇品地区) 市民による環境学習への支援(アース・ミュージアム元宇品)** (City of Hiroshima): Support for environmental learning by citizens (Earth Museum Ura).
- [市] (宇品旅客ターミナル) ターミナル施設の利活用(テナントの誘致等)** (City of Hiroshima): Effective use of terminal facilities (tenant attraction, etc.) at the Ura Passenger Terminal.
- [市] (広島みなと公園) みなとオアシス広島による市民イベントの支援** (City of Hiroshima): Support for citizen events by Minato Oasis Hiroshima at Hiroshima Minato Park.

3 その他

イメージアップ, 情報発信等については, 県市が協同で取り組みます。